

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 4 月 2 5 日	
石川県知事	殿
提出者 住 所 石川県金沢市長田 2 丁目 4 番 8 号 氏 名 株式会社金沢舗道 代表取締役 向井 健夫 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 076-223-4858	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 金沢舗道
事業場の所在地	金沢市長田 2 丁目 4 番 8 号
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	0 6 総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 (令和 6 年度実績) 7 億円
③従業員数	50 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・がれき類→自社工場及び再生処理業者に委託し、再生合材・再生砕石として再資源化。 ・木くず→再生処理業者に委託し、木材チップとして再資源化。 ・混合廃棄物→再生処理業者に委託して再資源化および埋立処分。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>(管理体制図)</p> <p>本社</p> </div> <div style="flex-grow: 1;"> <pre> graph TD A[環境管理責任者 (廃棄物処理統括責任者) 工務部長] --- B[環境委員会 廃棄物管理担当責任者] A --- C[工務部] A --- D[生産部] A --- E[営業部] A --- F[総務部] C --- G[作業所 現場代理人 (産業廃棄物処理責任者)] </pre> </div> </div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排 出 量	4297.35 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 型枠、杭の繰り返し使用。 ・ リサイクル製品の推進・利用。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙1 参照	
	排 出 量	3438 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 型枠、杭の繰り返し使用。 ・ リサイクル製品の積極的な利用。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ がれき類の確実な分別保管を実施。（保管スペースの確保） ・ 分別したものが混合しないように運搬。		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ がれき類の確実な分別保管の徹底。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	4297.35 t	
	（これまでに実施した取組） ・がれき類は自社プラントにて自己中間処理し、再生合材・再生砕石として再生利用。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	3438 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・がれき類は自社プラントにて自己中間処理し、再生合材・再生砕石として再生利用。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・該当なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・該当なし。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・これまで実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・今後の実施の予定は無い。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	11.15 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	11.15 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） ・処理業者と委託契約を結ぶにあたって、事前の現地調査（処理状況、維持管理状況、周辺状況） ・委託契約後の定期的な確認 ・マニフェストの徹底管理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	8 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	8 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・電子マニフェストに対応可能な処理業者から選定 ・可能な限り優良認定処理業者から選定		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書の別紙

廃棄物の種類	①排出量		自ら再生利用を行った量(②+⑧)						⑤自ら熱回収を行なった量	
					②直接再生利用した量		⑧中間処理後に再生利用した量			
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
がれき類(アスファルト・コンクリート破片)	4144.93t	3320t	4144.93t	3320t			4144.93t	3320t		
がれき類(コンクリート破片)	141.27t	110t	141.27t	110t			141.27t	110t		
木くず	4.17t	3t								
廃プラスチック類	2.8t	2t								
汚泥	4.18t	3t								
合計	4297.35t	3438t	4286.2t	3430t			4286.2t	3430t		

廃棄物の種類	⑦自ら中間処理により減量した量		自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(③+⑨)					
					③直接埋立処分等をした量		⑨中間処理後に埋立処分等した量	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
がれき類(アスファルト・コンクリート破片)								
がれき類(コンクリート破片)								
木くず								
廃プラスチック類								
汚泥								
合計								

廃棄物の種類	⑩全処理委託量									
			⑪優良認定 処理業者への 処理委託量		⑫再生利用 業者への 処理委託量		⑬熱回収認定 業者への 処理委託量		⑭熱回収認定業 者以外の熱回収 を行う業者への 処理委託量	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
がれき類(アスファルト・コンクリート破片)										
がれき類(コンクリート破片)										
木くず	4.17t	3t			4.17t	3t				
廃プラスチック類	2.8t	2t			2.8t	2t				
汚泥	4.18t	3t			4.18t	3t				
合計	11.15t	8t	0t	0t	11.15t	8t				

備考

※取扱う廃棄物の種類が3種以上の場合、処理計画書の種類の欄に「別紙のとおり」と記載し、この別紙に、廃棄物の種類ごとに排出量を記入してください。

なお、(これまでに実施した取組)、(今後実施する予定の取組)については、産業廃棄物処理計画書の各記入欄に記入してください。

※この表の丸数字は、産業廃棄物処理計画実施状況報告書の第2面の図表の番号です。報告書を記入する際にご利用ください。